

高機能で低価格を実現

トランスロン「新運行支援システム」開発

富士通グループのトランスロン（横浜市港北区）は6日、ネットワーク型車載システム「DTS-IC」を活用したSaas型の車両運行支援システム「ITP-Web Service」を発表。今月下旬からサービス提供を開始する。

情報機器事業推進部の田中充部長は、「従来は、デジタコから収集した情報を分析するにはサーバーやソフトが必要だったが、Saas型では不要。ネットに接続できるパソコンがあれば利用できる」と

「これまでシステムに興味のなかったユーザーでも、関心を持っていただける価格帯の「DTS-IC」の価格は1台22万9000円。システム利用料は1台あたり月額2380円となっている。また、運用コストの低減が図れるのも大きな利点。さらに、メモリーカードが不要になったことで、「帰庫

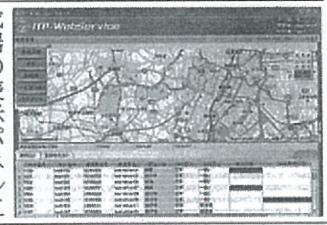


導入メリットを説明する田中充部長

後のカード読み取り処理がなくなり、事務所内での順番待ちもなくなる」という。

多彩な機能と拡張性備える

「DTS-IC」について、「運行と動態管理の機能が一体となり、多彩な機能と拡張性も備えたオールインワンモデル」と説明。操作性も向上した同車



「DTS-IC」は、車載器の表示パネルに「斜めからでも見づらくない」ように有機ELを採用している。「気付かない方は

「見守ってくれている」というニュアンスを伝えられれば」と話す。「安心して使っていたら、万一の故障時にも、すぐに代替機を送るなどのサポート体制も用意している。通信コストの課題を富士通の低価格通信環境を利用することでクリアし、完全定額制を実現した。大幅にコストダウンできたことで、理想的な環境が提供できるようになった。ぜひ、活用してほしい」と語る。

多いだろうが、ドライバー目線で考えた。長年、開発に取り組んできた我々のこだわり」と胸を張る。

また、「音声ガイド機能」も搭載。配車担当者がパソコンで入力した文章をデジタコが読み上げるというもので、行き先変更などの指示だけでなく、「延着の件、連絡済みです」「安全運転をお願いします」など、ドライバーとのコミュニケーションツールとして活用できる。「車載器に『管理されている』というメッセージを持つドライバーは多いが、

問い合わせは、電話045(476)4640番。(大西友彦)